



ワムタウン広場

WAM Town Open Space !

発行 一般社団法人ワムタウン推進本部
〒359-1131 埼玉県所沢市大字久米554番地2
TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会

1月

第117号 2020年/令和2年1月1日(水)

WAM TOWN



日々新たなるスタートを

MSS 保健医療福祉グループ 代表
医療法人啓仁会 理事長 矢吹 甚吾

今年は、グループとしては北野病院開設から41周年、所沢ロイヤル病院開設から40周年、特養ロイヤルの園開設から25周年を迎えます。様々な困難がありながらも、数多くの新年を迎えてまいりました。新年というのは気持ちを新たに、物事に取り組む良いきっかけとなります。当グループも様々な難問を抱えておりますが、悩んでいるだけでは何も解決しません。新年を迎えた時と同様、日々、気持ちを新たに行動すれば、難問も解決できるはずです。

日野原重明先生も「いくつになっても、今日がいちばん新しい日」という言葉を残されました。常に前向きに考え、毎日、今日からスタートと思いき、新しい発想で物事に取り組んで行く姿勢こそが、生き残り、成長していくためには必要不可欠です。厳しい時代こそ、毎日気持ちを切り替えて前に進んでいきましょう。



新年のごあいさつ

医療法人啓仁会 副理事長 矢吹 孝子

令和元年六月に副理事長に就任致しました矢吹孝子です。西武ロイヤル病院（現・所沢ロイヤル病院）で三年程薬剤師として勤務致しました。当時、病院長は角岡東光先生。副院長は福岡正裕先生で、ご指導頂きました。物品管理部門の長でいらした北林栄太郎様には社会人の心得を教えてくださいました。今回、医療福祉の分野に再び関わる事が出来嬉しく思います。女性の観点から現在日本の全従業員数のうち約

44%を占める女性（この業界はさらに高比率）の立場を考え、女性が働きやすい職場環境の整備を進める事で病気等による休職や離職の防止が出来、業務向上に結びつく事が出来るのではと考えています。啓仁会の理念『この街で、安心・生きがい・感動づくり』実現のため、頑張りますので宜しくお願い致します。



新年のごあいさつ

医療法人昭仁会 北野病院 名誉院長 西久保 国 昭

皆さん明けましておめでとうございます。

昨年は、世界でも指折りの美しく緑豊かな日本列島が激しい台風の猛攻にさらされました。そして各地に甚大な被害をもたらしました。最近の被害地の特徴は今まで比較的安安全とされていた地域も多くの被害を受けた様に思えます。

私ごとですが九州で育った私は、幼い頃より今回の様な恐ろしい台風や水害は何度も経験しました。博多の町中をモーターボートが走るんですよ！学生の時伊万里の叔父の家が水害に見舞われた時には、山口からバイクに米を積んでかけつけ、救援の自衛隊と一緒に作業した覚えがあります。約50年前の話です。

しかし今では、この経験を生かし、河川の工事や整備が整い、被害は格段に減少しました。まさしく“備えあれば憂いなし”の喩の如しです。

日本は世界に誇る美しい緑の島国です。

迫り来る温暖化や自然災害にも決して負けない国を皆で作り上げ未来の子供達に残したいものです。頑張りましょう！！

最後に私も昨年末に後期高齢者の仲間入りをしました。そろそろ終活に入りますのでこの欄の投稿は今回で最後に致します。

それでは皆さん今年もお元気で、良いお年を！！



あけまして おめでとうございます

医療法人啓仁会
所沢ロイヤル病院 名誉院長 大久保 清一郎

昨年、新しい年号「令和」が始まりました。「平成」の時代は、災害や経済不況など厳しいことが多かったように思われます。「令和」初めての正月を迎え、希望の持てる世の中になって欲しいと願うのは、私だけではないでしょう。

しかし、どんな組織、制度でも長く続くとマンネリ化し、タガが崩れ、活性化が滞ってしまいます。医療制度でも同じです。今のままの制度設計では、頓挫してしまうのは自明の理です。いかに sustainable なものにしていくか、真剣に考えなければなりません。昨年9月、国は再編統合を柱に全国の国公立病院名を公表しました。より厳しい病院の機能分化を行い、地域医療を構築していく必要があります。民間の医療機関でも同様です。大切な保険医療制度を守っていくためにも、これまで以上の努力が求められています。今年もよろしくお祈りします。





新春のお慶びを申し上げます

社会福祉法人 栄光会 理事長 北林 登美雄

栄光会は今年で25年目を迎えることとなりました。今、考えますとあっという間に年月が経過した思いがあります。この四半世紀もの長きにわたり栄光会があるのも各地域の皆様および関連各位、職員の皆様の支えがあったからこそと感謝申し上げます。

令和という新しい時代に入り、施設がより選ばれる時代になる気がいたします。変わりゆく時代の流れや環境などに屈することなく、何事にもチャレンジする気持ちを忘れず、これからも職員一同、ラグビー日本代表が示してくれたように『ONE TEAM (ワンチーム)』となり、努力してまいりたいと思います。本年も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人 啓仁会

法人本部

(埼玉県所沢市)
常務理事 高見 修也

意志を持ってチャンスを活かそう

皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年は診療報酬改定の年です。まだ詳細はわかりませんが、昨年度から一般職員でスタートし、医師にも2024年度から適用される「働き方改革」の実践に向けた動きが重点課題になるとも言われています。これまで以上に役割分担を考え、タスクシフトと効率化を進めていかなければ世の中の動きから取り残されることになってしまいます。

太宰治の「チャンス」という小説がありますが、この中で、「人生はチャンスという人がいるが、私はチャンスではなく、意志だと思おう」と言っています。何事もきっかけはありますが、意志を持っていなければ、目の前を通り過ぎてしまい、チャンスを活かさない、ということだと思います。国の制度改革に、ただ従うだけでなく、意志を持って取り組み、チャンスに変えていきたいと思っています。

所沢ロイヤル病院

(埼玉県所沢市)
院長 金子 正二

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は、大洪水、台風という自然災害が多い年でした。当院にとっても激動の一年でした。

11月に電子カルテの導入があり、また当院発展の基礎を築かれた大久保名誉院長の勇退が重なりました。大黒柱を失った気分ですが、職員一丸となって取り組み、しっかり対応しています。

所沢ロイヤル病院は、地域に信頼される療養型病院として、回復期、慢性期を担う病院としてこの地域で貢献していく責務があると思います。職員全員がその覚悟で頑張っております。本年も皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、希望に満ちた年であるよう祈ります。

平沢記念病院

(埼玉県所沢市)
院長 井川 真理子

新年明けましておめでとうございます



当院では、昨年8月から曜日毎に救急当番医を配置し、入院依頼などに出る限り速やかに対応が出来るシステムを作りました。地域からのニーズに応えることは勿論、経営改善により病棟の環境整備や職員の処遇改善を目指しています。

平成29年度から始めている認知症初期支援チームの拠点病院としての活動は、昨年4月より専任看護師を配置するなどして、今年度は既に予定以上の件数に関与することが出来ています。今後は幅広く啓蒙活動も予定しています。

今年も引き続きスタッフ一同で研鑽し、協力しながら、地域の皆様に貢献していきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

平成クリニック

(埼玉県所沢市)
院長 構木 睦男

新しき年に日本の山の再生を



台風19号の広範な水害を目の当たりにして、「治水」の工夫だけでは限界だと分かりました。大量の雨を保持する山の機能が失われているのではないのでしょうか？昔は山持ちが大変なお金持ちで、大量の杉を植え、山奥に御殿を建て、自家用ヘリコプターを持つ人もいました。しかし、杉の値段が暴落して、山が放置されて現在に至ります。国民病としての花粉症を残して…。

土砂災害で大量の木が流れて来ますが、どういふ木が弱いのかも分析すればすぐに分かるでしょうし、木々と電線の問題も何処でも起きる事ですので、喫緊の課題です。山に投資すれば関連産業も活発になりますし国を守ることにもなります。櫻を無駄に愛でるのではなく長期的視野を持った政府を選びたいものです。

介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘

(埼玉県所沢市)
施設長 鷺塚 誠

新年あけましておめでとうございます



今年は令和初めてのお正月です。皆様お変わりありませんか？昨年は自然災害の被害が甚大でした。まだまだ復興に時間が掛かる所が多いようです。

老健は、平成30年の介護報酬改定で施設区分が細分化され、当施設は超強化型老健になることが出来ました。これも皆様のご協力の賜物と感謝しております。在宅復帰率・ベッド回転率等いろいろ縛りがあり、仕事量が増え忙しくなりました。これからも利用者様が安心して住み慣れた地域で暮らしていただけるよう、医療・介護・リハビリ等の専門スタッフによるチームワークで、地域の皆様に信頼される施設として、頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

平成の森・川島病院

(埼玉県川島町)
院長 坂井 誠

新年のご挨拶



昨年は新天皇の即位に伴う元号令和の始まり、複数の首都圏直撃の台風、消費増税などあわただしい1年でした。その中でリチウムイオン電池の開発でモバイル革命を起こした旭化成の吉野彰名誉フェローのノーベル化学賞受賞は、我々を勇気づける大変明るいニュースでした。

さて人生100年時代と言われますが、健康長寿で過ごすことがなによりも大切です。私は昨年、「笑い」の健康効果を実践する方々と交流しました。「笑い」は自律神経を整え免疫力アップ、認知症予防、口腔機能向上をもたらします。「笑う門には福来る」と言いますが、若返り効果やストレス解消にもなります。今年は皆様も「一笑一若、一怒一老」を実践して行きましょう。

